

進捗状況の概要

(COC+大学)

・COC+事業の予算や事業計画などを審議・決定するため、各学長・校長、理事、COC+コーディネーターを構成員とする「地（知）の拠点大学による地方創生推進委員会」（COC+推進委員会）、事業推進組織として関係理事、COC+コーディネーター及び各部局の兼務教員等により構成する地（知）の拠点大学による地方創生推進室（COC+推進室）、産業振興等人材の育成・定着に資する協議を行う「とっとり地域志向人材育成・定着イニシアティブ会議」を設置するとともに、鳥取県中部及び西部地区にコーディネーターを配置し業務を開始したほか、シニアコーディネーター及び東部地区コーディネーターの採用を決定し事業体制の整備を行った。

・COC+推進委員会幹事会において、ビジネス・起業関連科目の洗い出し、今後必要となる科目についての検討を開始した。また、COC+推進室に教育部門を設置し、COC 事業による新規科目の開設や教育改善等を確認するとともに、鳥取県内の産業界や行政機関の経営者、幹部職員を講師とした「地域就業論」を開講したほか、キャリア・プロジェクト体験科目の開設、起業・ビジネス科目とスモールプロジェクト実践科目の接続等について検討した。更に、COC+事業の中で展開する授業科目を集中的に検討するワーキングチームを発足させ、教育関係コンサルタントから検討材料を入手した。

・「インターンシップ推進フォーラム」及び「企業向け研究会」において地域協働型インターンシップの参加学生及び受入企業を対象に実施したアンケート結果を公表し、インターンシップ・プログラムの改善について検討した。また学生参加型の産学共同研究の仕組みづくりの検討を開始した。

・連携講座を実施するためオンデマンド型の講義配信システムを参加校も含めて全校に整備するとともに、PBLに必要な電子ディスプレイ、クリッカーシステム等の装置を導入しハード面の整備を行った。

(COC+参加校)

・事業実施体制を整備し、新カリキュラムの科目・教育内容等の決定（公立鳥取環境大学）、地域志向科目の編成及び実践的経験として定着させる教育システムの構築（鳥取看護大学）、共通教養科目「山陰論」等の授業（鳥取短期大学）、外部講師が県内の優れた技術を紹介する授業や講演会（米子工業高等専門学校）を実施した。

・各地域のニーズを汲み上げ連携体制を構築するため、「とっとり麒麟地域活性化プラットフォーム」地域連携推進会議の開催（公立鳥取環境大学）、地域志向科目等活動フィールド等との協議、健康づくりリーダー育成（鳥取看護大学）、栄養士への就業意欲に繋がるフィールド研究、調剤薬局と連携した栄養関連ニーズ調査、県内プロサッカーチームの食育支援（鳥取短期大学）、地域や企業等との共同研究のマッチング活動（米子工業高等専門学校）等を実施した。

・キャリア教育等のカリキュラム改革（公立鳥取環境大学）、全学体制の実習先訪問や教育会議（鳥取看護大学）、全学科共通特別科目「インターンシップB」（鳥取短期大学）、米子高専振興協力会企業ガイドブックの配布（米子工業高等専門学校）等キャリア教育と地域インターンシップの充実にむけた取り組みを開始した。

・地域の企業・ステークホルダーとの人的交流基盤の構築（公立鳥取環境大学）、臨地実習先医療機関との情報交換（鳥取看護大学）、OB/OG の就職後の追跡調査と就業先の評価・ニーズ調査の実施、企業の採用動向等の聴取（鳥取短期大学）、教員等による企業訪問（米子工業高等専門学校）等雇用開拓を実施した。

・その他、「プロジェクト研究」における地域連携活動、中高生の学習支援活動（公立鳥取環境大学）、「まちの保健室」（鳥取看護大学）、倉吉市の地方創生総合戦略についての意見交換、倉吉市中心市街地活性化協議会メンバーと学生の意見交換（鳥取短期大学）、「米子高専振興協力会」への入会を勧誘による入学者・就職先の確保（米子工業高等専門学校）等各大学独自の地域活動を実施した。

(COC+大学名：鳥取大学、事業名：学生と社会の相互交流による人材育成・地元定着促進プログラム)